

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新型コロナ感染症受診支援搬送サービス事業
事業主体 (連絡先)	白馬・小谷新型コロナ受診支援対策協議会 (事務局 白馬村観光局 0261-72-7100)
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり、(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,982,000 円 (うち支援金： 2,385,000 円)

事業内容

令和3年度に続き、新型コロナ感染症の疑いがあり指定病院での受診を進められた方で自身での移手段を持たない観光客の受診支援のための搬送サービスを提供する。作成した感染疑い者による感染拡大防止と運転手の安全確保のためのガイドブックを遵守して運行する。宿泊事業者を含む観光事業者への周知は、わかりやすい案内資料を作成してメールなどで繁忙期前など数回送り、周知徹底を図る。

運行業務は、(有)白馬交通に委託し、感染防護対策を講じた専用車両(ハイエースコムーター)にて、白馬村・小谷村内の宿泊施設等における感染疑い者等を医療機関へ搬送する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

昨年度に続き、地域が抱える課題を直接的に解決する事業となり、観光事業者や利用者双方が安心できる観光地に寄与できた。実際の運行は2件(学校団体2件)だったが、修学旅行シーズン前には学校や旅行会社からの本事業への問い合わせは10件以上あり、安心感を与えることで団体旅行の実施につながったと考えられる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

新型コロナウイルス感染症の疑われる場合に、地元地域へ戻ってから検査を受けるよう保健所や病院が促すようになり、修学旅行では親が迎えに来ることを条件にする学校も増えたこともあって、本事業の必要性が少なくなった。地域内観光事業者からも要望はなくなったことから、本事業の目的は全うしたと考えられる。よって、今年度で新型コロナ受診支援搬送サービスを終了する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【感染対策を施した車両】

【目標・ねらい】

- ①交通手段を持たない観光客向けの病院への搬送サービスの提供
- ②安全・安心な観光地づくり

※自己評価【 B 】

【理由】

秋ごろより感染症疑いのある人への対応が変わったことで、本事業の必要性が少なくなった。一方で、本事業があることで修学旅行などの目的地として選ばれたことに寄与できた。